

タクシーのご用命は0120-148-512登山ハイヤーへ

無料

ご自由にお持ちください

箱根観光情報研究會

箱根観光情報新聞

箱根観光情報新聞
2023冬号第二版
令和6年2月2日発行
企画制作
箱根観光情報研究会
協力
箱根モビリティサービス㈱
制作責任者:美馬 哲
発行部数:800部

郷土資料館で箱根の歴史を知る

箱根は全国有数の観光地だが、その歴史についてはあまり知られていない。今回は手軽に箱根の歴史を知ることができるスポットとして、「箱根町立郷土資料館」を紹介したい。

変ありがたい施設だ。一九八三年七月に箱根の歴史に関する資料の収集とその情報の公開を目的に開館。場所は箱根湯本駅から徒歩五分ほどの箱根町役場正面の建物だ。入り口を入ると受付があるので、三〇〇円を支払って入館する。最初に展示されているのは、箱根の観光資源の代表

と言える「温泉」についての資料だ。

箱根は活発な火山活動の影響で各地に温泉が湧き出したため、古くから湯治場として発展してきた歴史がある。江戸時代に初めには七つの温泉場（湯本・塔之沢・堂ヶ島・宮ノ下・底倉・木賀・芦之湯）が成立し、箱根七湯と呼ばれていた（現在は十七湯）。江戸時代の浮世絵の画像や当時の宿帳などの貴重な資料が展示され、分かりやすく解説されている。

奥に進むと明治以降の写真や戦前に使われていたタクシー乗務員の制服などが展示されており、観光地として発展してきたプロセスが理解できる。また、仙石原村の民家の一部や寄木細工を作るために使われていた道具類、調度品なども展示されている。



短時間でご覧いただける施設なので、目的に出発の前に立寄ると箱根観光がさらに楽しくなるだろう。

箱根駅伝ミュージアム

正月の恒例行事の一つに「箱根駅伝」がある。正式には「東京箱根間往復大学駅伝競走」と言う。一九二〇年に世界に通用する長距離ランナーを育成する目的で始まった。

長い歴史の中には様々なエピソードやドラマがあり、

毎年、テレビの前で釘付けになっている方も多いだろう。中には一月二日には芦ノ湖の往路フィニッシュ付近、三日には大手町のゴール付近で応援しているファンの方もいる人気のイベントだ。本紙編集長も首都圏に勤務していた時には二日は芦ノ湖、三日は大手町で応援していたらしい。

目の前で母校の駒澤大学が初優勝した時には本当に感動したと言っていた。

その箱根駅伝の往路フィニッシュ横に日本で唯一の箱根駅伝の往路施設である「富士屋ホテル株式会社」が管理運営を行い、貴重な写真や資料、選手の愛用品、往路優勝校に渡される箱根寄木細工の往路優勝記念トロフィーのレプリカなどを展示、数々のエピソードや記録を紹介している。

地域貢献と駅伝の情報発信を目的に、元々、富士屋ホテルのレストランがあった建物をミュージアムに改装して二〇〇五年三月に開設したそうだ。

現在の副館長は準備段階からこのミュージアムに携わっていたとのこと、思い入れも強いらしい。取材の際も年末から来春にかけて計画している往路優勝記念トロフィー特別展示のために大学へ協力をお願いをしているとのことだった。往路優勝記念トロフィーは箱根煙宿の「金指ウッド



箱根駅伝ミュージアム

クラフト」が一九九七年から製作しているもので、無垢の寄木で作られ、毎年デザインが異なる。
世界に二つとない非常に貴重なものだ。
一月中旬の段階ですでに神奈川大学所有の三点の展示が始まっており、下旬からは東洋大学から七点、創価大学から一点の展示が決定。普段は目にする事が出来ない貴重なトロフィーなので、是非ご覧いただきたい企画だ。展示は来年三月末までの予定。
また、ミュージアムにはショップが併設されており、オリジナルグッズのほか大会記念グッズ（限定数）や書籍などを扱っている。
箱根駅伝ミュージアムならではの土産が手に入るだろう。本紙編集長からは駒



大会選手権を制した大学のユニフォーム展示コーナー（写真右）、往路優勝記念トロフィーのレプリカ（写真左） 写真提供 箱根駅伝ミュージアム

名店訪問 ボックスバーガー 箱根店

箱根の宮城野に二〇一九年一〇月にオープンしたハンバーガーショップがある。ボックスバーガー宮城野店だ。実は本紙編集長が初めて利用した際に、ハンバーガーの美味しさに感動して、そのまま店長に取材を申し込み、本紙創刊号で記事掲載したと言う本紙とは縁の深いお店だ。
そのボックスバーガーが箱根湯本に新しいお店を開



店したため、四年ぶりに取材させていただいた。
「美味しさとともに、元氣の出る体に良い食べ物をご提供する。」のがお店のコンセプト。食材や調理法、バランスにこだわり尽くしたハンバーガーを提供するために、パティには横浜ミートフェアで六度優勝した幻の牛と称される相州牛、有名バーガー数店舗に特注した無添加のバンズ、ベジタブルウォッシュした国産野菜を使用して究極の逸品に仕上げたとのことだ。
箱根湯本本店は七〇年前に置屋として建設された歴史的な建物を改修してオープン。二階は旅館として営業しており、「泊まれるハンバーガー屋」としてもア

行きつけのカフェのオーナーの奥様から「芦之湯のバス停に冷凍のチーズケーキの自販機がある。」との情報提供があった。
芦之湯は古くから温泉場と知られた場所であるが、比較的、人通りの少ないところだ。「なぜ、芦之湯にチーズケーキの自販機か？」と疑問に感じた本紙は早速、現場を確認。
その日の時刻には自販機で仕入れたアイスチーズケーキとタルトを持ち帰っていただいた。美味い。どうやら、某ネット通販のチーズ



ピールしている。
一階はカウンター席と和室の部屋があり、大勢でハンバーガーをいただく場合は和室が楽しそうだ。
なお、ボックスバーガーのボックスは箱根の「箱」の意味。
ウチルカの自販機



ケーキ部門の人気ランキングで三年連続一位を獲得しているらしい。
早速、横浜市青葉区の「ウチルカ」の店長を取材。驚いたことにいただいた名刺には「金子石油店」と言う社名が。実はカフェ「ウチルカ」の運営している会社の社長はガソリンスタンドを経営していたが、「個性で勝負できる飲食店が羨ましかった。」と言う理由で一〇数年前にレストランを開店。スタッフは子育て中の主婦が多く、主婦ならではのアイデアが沢山あったらしい。オリジナルドレッシングの販売や菓子製造など。二〇二〇年にレストランをカフェに改装。昨年から人気なチーズケーキやタルトを冷凍にして自動販売機での販売を開始。
箱根での展開はガソリンスタンドの繋がりで、箱根のガソリンスタンドの協力

本紙ではお客様にできる限り正確に情報をお伝えするよう努力しておりますが、紙面の都合上、お店の場所や営業日、営業時間などの詳細をお伝え出来ない場合がございます。お手数をおかけしますが、訪問される前にお店や施設のホームページなどで営業日、営業時間などをご確認ください。よろしくお願いいたします。



を得て、今年二月に設置したそう。現在は元箱根の二の鳥居横の店舗前でも展開。チーズケーキとタルトはそのままで美味しいが、チーズケーキは少し自然解凍してから、タルトはオーブンで温めても美味しくいただける。
現在、冷凍のお弁当の販売も検討中とスタッフの夢が止まらないお店だった。



箱根に観光に来たけれど「どこを見たらいいかわからない。」
「効率的に観光したいけれど・・・。」
とお悩みのあなた
箱根観光は登山ハイヤーがおすすめです。
**今すぐ
0120-148-512(携帯OK)へ**

